

令和4年度第3回当別町地域公共交通活性化協議会議事概要

1 開催日時及び開催場所

日時:令和4年12月20日(火)13:30~14:30

場所:当別町役場第2庁舎 2階会議室

2 出席委員

別紙委員名簿のとおり

3 協議会の概要

≪次第2 報告事項≫

(1)当別町コミュニティバスの令和4年10月までの実績報告について

資料1に基づき事務局より説明した。

質疑等なし

≪次第3 協議事項≫

(1)令和4年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(案)について

資料2-1、2-2、2-3、2-4、2-5、2-6に基づき事務局より説明した。

質疑等なし

(2)バス停留所の新設及び運行経路の変更(案)について

資料3に基づき事務局より説明した。

質疑等

菅田委員:道内の様々な地域の公共交通の会議に携わってきたが、何点か取組について提案したい。

一つ目は、デジタルの時代になってきているが、高齢者はデジタルを使うのが難しい人が多いので、デジタルと平行して紙媒体も必要だと思う。

二つ目は、高齢者がJRの駅からバス等へ乗り継ぎする場合にサロンのような時間を潰せる施設を作ると良いと思う。

三つ目は、病院や商店を回るバスがあると良いと思う。経費の問題で曜日毎に運行経路を変える等の対策が必要になるが、拠点を結ぶバスは特に高齢者に需要があると思う。

最後になるが、今後免許返納が重要になってくるので、高齢者が利用しやすい公共交通を実現することにより、免許返納も進むと考えている。

事務局:デジタルについては、高齢者への対応は丁寧に進める必要があると認識している。町としても高齢者へのデジタルデバインド対策を実施している。また、デジタルを導入してすぐに紙媒体をやめることは考えておらず、しばらくはデジタルと並行して紙媒体も継続する必要があると考えている。

サロンのような高齢者の待合所については、まちづくりの観点からJRの駅付近に施設を

設置する等の提案をしていくことが可能だと思う。

病院や商店を繋ぐ公共交通については、タクシー事業者や商工会等の関係機関と連携し、企画切符等も含めて今後検討したい。

免許返納については、返納者が増えればバス利用も増える可能性があるが、自家用車と比べて不便であり、免許返納がなかなか進まない状況であると認識している。今後10年・20年先を見据えて公共交通を維持するとともにモビリティ・マネジメントを実施し無理なく免許返納が出来る環境づくりを進めたいと考えている。

増輪会長:高齢者サロンについては、交通事業者だけでは難しく、町の施策として、社会福祉協議会や商工会等と検討していけたら良いと思う。

《次第4 その他》

(1)今後のスケジュールについて

資料4に基づき事務局より説明した。

質疑等なし

以上